

魅力づくり活動日記

「地域活性化起業人」松井 彩さん

■問合せ ふるさと定住課 ☎72-6955

学生対象のインターンシップを開催しました!

先日、地方や地域活性化に興味関心のある大学生を対象に、町内でインターンシップを開催しました。

インターンシップでは、各学生の地元や授業・研究で扱う市町村と那須町を照らし合わせたディスカッションを行い、那須町が持つ独自の魅力について意見を出し合いました。具体的には「多彩なアクティビティや宿観光名所があるがゆえに、何が一番の魅力なのか分からず、那須○○というイメージが湧かなかった。しかし、実際に訪れ

那須町

魅力づくり活動日記



インターンシップに参加した都内大学に通う学生

てみて、それが那須町の良さでもあるのではないか」といった声をいただきました。

また、ふるさと定住課で開始した実証事業「ふるさとアプリ」の活用についても意見をもらい、今後の運用のヒントを得ることができました。

これらの学生の視点と経験は、町の活性化を刷新させ新たな活気をもたらし、未来に向けてさらに魅力的な場所となる手助けになつていくことが期待されます。また、地元企業と連携したインターンシップを実施することは、学生や若者にとって魅力的な場所であることを示すことなり、地域の認知度向上やブランドイングにもつながります。

今後もインターンシップをとおして地元企業の魅力を発信できるよう、インターンシップPRを応援します。インターンシップに協力いただける企業を近日募集しますので、ぜひご活用ください。

短歌

四度目の入賞果たし嬉しかり
グランドゴルフは老いの楽しみ
牧水の歌によりそい旅ゆくか
あの空の碧あの青き海
青空にもろこし畑吹きぬける
風はさわやか「千振開拓」の文字

塩島恵子 竹井麗子 平岡丈子 仲川浩庸

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 10月20日(金)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
企画政策課広報広聴係 ☎72-6935

俳句 (2023年10月号)

棚田にはせせらぎ多し曼珠沙華
リズム良くとろろ仕上げる山の茶屋
米一升大擂鉢のとろろ汁
戦争を語りし父のとろろ汁
ごつい手で父の丹精とろろ汁
朝夕の気温優しき葉月かな
萩月の樋飲みきれぬほどの雨
一灯に繙く一書虫の声
秋の草活けて友人待ちにけり
億光年隔てて近し天の川
畠道にせせらぐ音の秋澄めり
遠八溝人声運ぶ風の秋
一村をほむらに染めて曼珠沙華
彼岸花この先行くと県境
冷やかや田んぼのうしろ芦野石
刈り時を待ちて伏したる稻の秋

那須文芸

棚田にはせせらぎ多し曼珠沙華
リズム良くとろろ仕上げる山の茶屋
米一升大擂鉢のとろろ汁
戦争を語りし父のとろろ汁
ごつい手で父の丹精とろろ汁
朝夕の気温優しき葉月かな
萩月の樋飲みきれぬほどの雨
一灯に繙く一書虫の声
秋の草活けて友人待ちにけり
億光年隔てて近し天の川
畠道にせせらぐ音の秋澄めり
遠八溝人声運ぶ風の秋
一村をほむらに染めて曼珠沙華
彼岸花この先行くと県境
冷やかや田んぼのうしろ芦野石
刈り時を待ちて伏したる稻の秋

棚田にはせせらぎ多し曼珠沙華
リズム良くとろろ仕上げる山の茶屋
米一升大擂鉢のとろろ汁
戦争を語りし父のとろろ汁
ごつい手で父の丹精とろろ汁
朝夕の気温優しき葉月かな
萩月の樋飲みきれぬほどの雨
一灯に繙く一書虫の声
秋の草活けて友人待ちにけり
億光年隔てて近し天の川
畠道にせせらぐ音の秋澄めり
遠八溝人声運ぶ風の秋
一村をほむらに染めて曼珠沙華
彼岸花この先行くと県境
冷やかや田んぼのうしろ芦野石
刈り時を待ちて伏したる稻の秋

表紙の話

4年ぶりの開催
第18回那須九尾まつり
(九尾みこし)

9月17日、4年ぶりとなる九尾まつりを開催しました。九尾みこしや九尾よさこい、お笑い芸人スペシャルステージなどの各種催しや、キッチンカーや露店などの飲食ブースには、町内外から訪れた約12,000人の来場客でにぎわいました。
※カメラスケッチ(25頁)で九尾まつりの様子を紹介しています。